

令和 2 年度

第3回（6月）教育委員会定例会会議録

日 時：令和2年6月23日(月) 15時00分～17時15分

場 所：村民センター小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 清水 道直・林 百代・出羽澤和子・薄田 東

事務局：教育次長 伊藤 弘美

書 記：池上 博子

以上7名

傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

3点お願いいたします。

- ・昨日県教委による県立高校第2期再編についての住民説明会が行われました。新聞記事にある通りです。7月14日に伊那で再度説明会が行われるので、関心がある方はご参加いただければと思います。
- ・南箕輪小学校の校長先生が職員向けのプリントに、授業について「引き込みながら、引き込みながら学級全体との会話を成立させます」と記しています。今、オンライン授業ができる環境を整える動きがある訳ですが、この言葉をオンライン授業に重ねることができのでしょうか。考えてみたいと思います。
- ・臨時休業中の課題が、評価対象になりうる解釈があります。家庭環境が異なる子どもたちにとって、この「評価」をどう考えてよいものか、皆さんどうお考えになりますか。

3 付議事件

- (1) 準要保護の認定について （会議資料1）

非公開

4 報告・確認事項

- (1) 新型コロナウイルス感染対応マニュアルについて （会議資料2）

<教育長>

※資料にて説明

<教育長・教育委員・教育次長>

- ・臨時休業が必要でないという判断はどういう状況か。
- ・児童生徒、教職員が発症の場合休業・消毒はありうるのではないか。

- 例えば2週間登校していない児童生徒が発症した場合は臨時休業とならない可能性がある。
- それ以外は臨時休業のなるのではないか。
- マニュアルを細かく描くと応用が難しくなる。マニュアルを基に柔軟に対応できるようにしたい。
- 児童生徒職員が感染した場合、最低3日休業の方向。その後は、分散登校・短縮・通常日課等状況に応じて学力の保障を大事にしたい。
- 新型コロナウイルス感染症に関して、正しく恐れることが大事。
- 近隣市町村で感染者が出た場合はどう対応するか。
- 地域・近隣市町村の感染状況に応じ、関係機関・部署と連絡を取りながら判断していく。

<教育次長>

- 家庭での健康観察を学校で集約できるアプリがある。今入っているシステムで可能か検討したい。
- 国からの1次2次補助金について、アルコール、スポットクーラー等準備を進めている。2次については詳細が出されていないが、学校と連絡を取り、必要な物品を購入していく考えでいる。

(2) 第64回県市町村教育委員会研修総会分散会発表について (会議資料3)

<教育長>

10月に予定されている研修総会分散会発表「視点」・分担について立案しました。

<教育委員・教育次長>

了解

(3) 6月定例議会報告について (会議資料4)

資料にもとづき、報告がなされた。

(4) 児童・生徒数について (会議資料5)

資料にもとづき、報告がなされた。

(5) 事故報告 (会議資料6)

非公開

(6) 各委員から(課題、希望)(口頭にて)

特になし

(7) 6月事業報告・7月事業計画について (会議資料7)

資料にもとづき、報告・確認がなされた。

(8) 7月・8月定例会について

7月21日(火)15時から 予定

8月26日(水)9時30分から 予定

5 その他

(1) 教科用図書選定について

<教育長>

7月20日（月）に採択委員会が予定されている。採択について21日（火）に時間を設けたい。

(2) 村議会福祉教育状人委員会と学校・教育委員会との懇談

8月28日（金）午前中の方向で調整

6 閉 会

以上